

卸売市場の移転・耐災害性の強化により、 災害時も生鮮食料品等を安定的に供給

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時に効果が見込まれる事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要：老朽化し耐震性が低い卸売市場を移転し、敷地の嵩上げや耐震化を行うとともに、非常用電源を設置したことで、災害等の緊急事態であっても継続的に生鮮食料品等を供給できる見込み。

対策名：74 卸売市場の防災・減災対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

- 実施主体：兵庫県姫路市
- 実施場所：兵庫県姫路市
- 事業概要：卸売市場は生鮮食料品等を安定供給する重要な社会的インフラであり、姫路市場は播磨地域約180万人の供給拠点（取扱高250億円）である。老朽化した市場を移転再整備して、建物の耐震安全性を高め、非常用電源の設置や敷地全体の盛土による嵩上げを行うことで、災害等の緊急事態であっても継続的に生鮮食料品等を供給できる市場となった。

■ 事業費：113億円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
災害時の食品供給の体制整備	卸売市場移転・耐震化	約113億円	R1～R4
うち5か年加速化対策（加速化・深化分）	卸売市場移転・耐震化	約110億円	R2～R4

- 想定している災害、効果見込み：南海トラフ地震では姫路市において震度6強、建物全壊2000棟などの被害が想定されている。南海トラフ地震による卸売市場施設への被害を軽減することで、災害時の食料支援物資の供給拠点としての活用や、災害時における市場取引の維持を図るとともに、場内物流の効率化、品質衛生管理の高度化等の市場機能の強化により、継続的に生鮮食料品等を安定供給できる体制の確保が見込まれる。

従来の施設



施設の耐震化

耐震化した施設



非常用発電の設置により、
災害時の市場機能を維持

（防災設備、給排水、
シャッター、照明・コンセント
の一部について、最大連続
稼働時間72時間で電力を
供給する体制）



敷地全体を盛土による嵩上
げを行うことで津波や高潮等
による浸水被害を低減

（周辺道路より1.5m～
2.0mの盛土）